

## 「第4期大阪府ホームレスの自立の支援等に関する実施計画(案)」に対する府民意見等と大阪府の考え方について

○募集期間 : 平成31年2月8日(金曜日)14時から平成31年3月11日(月曜日)24時まで

○募集方法 : 大阪府電子申請システム(インターネット)、郵便、ファクシミリ

○提出人数・意見数 : 1名から計1件のご意見をいただきました。

いただいたご意見に対する大阪府の考えは以下のとおりです。

(意見等は、募集の趣旨を踏まえ、基本的に原文のまま掲載していますが、個人や団体を特定又は類推できる情報は削除しています。)

No	意見	大阪府の考え方
1	<p>第4 2 保健・医療の確保 について 健康相談では積極的に禁煙を支援されたい。喫煙習慣は健康を損ねまたタバコへの支出が貧困を固定するためホームレスからの脱却を難しくする。例えば、大阪市西成区あいりん地域におけるホームレスを含む住民の栄養摂取の考察はホームレス経験者の喫煙率が非常に高く、少ない収入をタバコに費やしていると指摘し、大阪市保健所の職員らが執筆した『ホームレス結核患者の自己退院に関する検討』は『ホームレス結核患者の99.0%が喫煙者であった。』と指摘する。 禁煙支援は結核対策の推進にも寄与するはずだ。</p>	<p>巡回相談指導事業では、巡回相談員がホームレスの状況やニーズを把握し、一人ひとりに応じた支援を行っています。 同事業の機会を利用して、看護師や保健師、精神保健福祉士による、個々の状況にあわせた禁煙支援も行っています。</p>